

## 平成24年度 冬のエコスタイルチャレンジ 項目ごとの「具体的取り組み内容」

### ①電気使用量の節減

・会社としてキャンペーン実施
・チャレンジ25キャンペーンのポスターを社内、現場へ掲示し節電をPR
・事務所及び倉庫内の照明を間引きし、こまめな消灯の実施
・事務所等の蛍光灯を午前中消灯・午後から半分消灯実施
・使用していない場所の消灯を心掛け、徹底し電力消費量を抑制
・不必要な照明の取り外しとこまめなスイッチ管理
・照明はこまめに消灯、電気ポット・エアコン・トイレジェットヒーターの未使用実施
・不必要な電灯の消灯、パソコンの省エネモードの徹底、エレベーター使用の自粛
・照明を「勤務時間中50%」を目標に消灯し、エレベーターの利用自粛
・不使用時の各室消灯厳守、残業時間照明の不要エリア消灯、月2回ノー残業デー実施
・窓ガラスの二重化等により暖房削減
・不必要な電灯の消灯、長時間使用しないOA機器、パソコンの電源オフなどの徹底
・LED照明器具の設置、不必要な電灯の消灯、パソコンの省エネモードの徹底
・店舗内の照明を日中は半分
・ショールーム、事務所、工場のこまめな節電、ロードサインの照明
・予め消灯できるスイッチにシールを貼り減灯
・エアコンの使用を抑え、ペレットストーブの使用
・トイレ、便座のフタ閉める
・机を1時間以上離れるときはPC電源を切る。LED照明の導入
・使用していない箇所はコンセントを抜く
・ショールームの来客に合わせた温度管理
・電気のon,offをこまめに実施、休日はブレーカーを落とす
・事務所の照明間引き、不使用時のパソコン電源切り、トイレの便座ヒーター温度の低温レンジ使用と
・夜勤エリア、ビニールカーテンを設置し、冷暖房での使用を削減
・製造機の空転防止、タイマー運転OA機器の省エネモード設定
・「節電行動計画」継続取り組み＋電力測定事業活用
・暖房時間のタイムスケジュール管理による暖房設備の節電
・環境ISO運用手順書に基づき実施
・照明の間引き、デマンド監視装置による空調機・暖房ストーブの節電
・デマンド監視体制、大型設備輪番稼働、照明(蛍光灯)間引き実施
・ピークカットの取組みで節電の取組みを継続
・デマンド監視装置によるピーク抑制、事務所電灯の間引き継続、昼休み時の消灯、紐スイッチ取付箇所を拡大、PCのこまめなON,OFF、日常・従業員用お湯には電気ポットを使わない、エアコン暖房の弱点(電気料金大・足元の冷え)対応として、ファンヒーターを併用
・電気エネルギー削減手順書により実施し環境委員会にて進捗状況を報告し改善を実施
・省エネチームを組織し、「生産設備の省エネ」「用力・付帯設備の省エネ」「省エネ意識啓発」を推進
・独自の環境マネジメントシステムに基づき電気の使用量を削減
・自社で機械の電力を測定して、省エネ活動